

12.16三里塚へ総結集せよ!



79.12.11
No. 297

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九・六(公衆電話)七二〇七

労農連帯で勝利の八〇年を切開けよう!

12・16「事業認定期限切れ居直り粉碎・二期工事粉碎・飛行阻止・空港廃港」全国総決起集会は目前にせまった。われわれは、三里塚闘争の卓越した指導者・戸村委員長を失いながら、悲しみを怒りにかえ「農地死守」「話し合い拒否」「二期工事阻止」にむけ、不屈にたたかう三里塚・芝山連合空港反対同盟の決意にこたえ全力で12・16に結集しなければならぬ。いままでもなく三里塚闘争は、八〇年代日本階級闘争の天王山であり、三里塚闘争の勝敗は、労働運動をはじめ、反原発・反公害等々の住民運動に決定的影響を及ぼすものである。従って三里塚闘争は、類例をみない自民党政府の悪政と横暴を断じて許してはならないというところから出てなく、すべての労働者・人民の未来にとって絶対に勝利しなければならぬ闘争課題である。われわれは今一度このことをがっちり踏まえ、10・22、11・1の二波にわたる闘いの成果を基礎に労農連帯を強固にして三里塚闘争の勝利を通して右傾化し産業報国会化する労働運動の現状を戦闘的に再生させる闘う路線に確信をもって、12・16三里塚第一公園へ決起しよう。

事業認定切れ居直りを許すな

本年一月一六日とはいかなる日か。これは、土地を強権的に収奪する悪法である「土地収用法」にもとづく事業認定の期限切れの日である。つまり一月一六日をもって政府・空港公団は、「三九ヘクタールにのぼる一七戸の農地と家屋、一坪用地、団結小屋などが現に存在する二期工区の土地収用権が消滅し「空港建設事業」という事業認定が失効するという日なのである。にもかかわらず政府・空港公団は「成田に関して土地収用権の消滅はありえない」として二期工事強行・敷地内農民からの土地強奪の意図をあからさまにしている。われわれは、こうした法律をも無視して農民から土地を強奪し、反人民的欠陥空港を居すわらせ、騒音、電波公害を周辺住民に強要する政府公団のこれ以上の悪業を許してはならない。

二期工事粉碎・ジェット燃料輸送阻止へ

反対同盟は12・16集会を、この一年間の闘いを集約する中で新たな八〇年闘争にむけた大集会として位置づけ、「一四年間関係係を結んできた動労千葉との労農連帯を基本に位置づけ、今後とも備蓄ゼロにむけて闘うという動労千葉自身の決意を包んで、ジェット燃料貨車輸送阻止へと前進していかなければなりません」と全国に呼びかけている。われわれはこの呼びかけに全力でこたえきらなければならぬ。

われわれは、労働者と農民の置かれているそれぞれの立場を踏えつつ、三里塚へジェット燃料を運ぶということが、農民の闘いに敵対することであること、同時に、われわれ国鉄労働者にとっても、合理化促進、運転保安無視等々の許すことのできない「矛盾と犠牲の強要」であることを原点にすえ、三里塚空港建設こそ「矛盾と犠牲の強要」の元凶であることとらえ、労働者・農民の共通の課

最後のメッセージ



10・21集会への戸村委員長の激励

いま三里塚の農民にとって必要なことは革命的なたたかひの魂ではないでしょうか。十四年間たたかい続けてきた戦いの精神にたちもどらなければなりません。

三里塚と動労千葉の革命的連帯こそ勝利の道だと私は思う。この道こそ八〇年代の日本を革命にまで導く不可欠のものです。三里塚に戻って再び権力とたたかいたい。権力に大あわをふかせるような爽快なたたかひをやらすしてどうしていられようか。

皆さんがんばってください。石橋さんががんばってください。二期工区内の皆さんがんばってください。

三里塚は日々勝利しているのです。そしてかならず勝利するのだ。このぶざまな空港をこえなさい。われわれの戦いは目前で敵権力を圧倒しているではありませんか。

同志よ、手を固く握り合って心一つにして最後の勝利まで戦い抜きましょう。

十月十九日(病床より) 反対同盟委員長 戸村一作

題として闘いとしてきたのである。こうした立場であるからこそ、労働者と農民の生きた交流・連帯が勝ちとられてきたのである。

われわれは、三里塚闘争勝利の鍵である、反対同盟の不屈の団結と数十万の支援勢力の結果、労働者階級本隊との連帯をさらに強めるものとして、二波にわたる三里塚政治ストライキを打ち抜いた成果と教訓を全労働者・人民のものにすべく12・16三里塚第一公園へ決起しよう。